

第10号

ほっとほ〜む

<発行> 社会福祉法人 大阪福祉事業財団 高鷲学園 072 - 953 - 3881 FAX 072 - 953 - 3882
 <発行責任者> 園長 瀬川 佳成 Eメールアドレス takawashi@miracle.ocn.ne.jp
 〒583 - 0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号



砂浜に広がるテントの山々

思い出しの夏合宿

今年も子どもたちが楽しみにしていた夏の合宿が終わりまして。日常生活とは違う子ども集団、職員で三泊四日を和歌山の龍神村にある廃校を利用して行いました。100名以上の子どもとおとなが移動するわけですから、高鷲学園では一大イベントになります。とにかく、事故のないように、病人が出ないように、近隣の人に迷惑をかけない

いようにと万全を期して合宿に臨みました。

私が初めて学園に来た時の合宿はキャンプと呼ばれていて文字通り海辺にテントをはっての行事でした。泳ぎがメインのキャンプはキャンプの間に泳げるようになること、火をおこして自分たちでご飯が炊けるようにすることでも大事な目的でした。海辺のテント生活ですから、前日から先発隊が現地に入り、トイレを作るころから始まります。そして厨房になる大膳の設置です。大きな釜でお茶を沸かしたり、みそ汁が作れるようになります。調理の先生は炎天下一日中火の番でさぞかし大変だったと思います。水も井戸水をポンプで汲み上げて運んだことを覚えていきます。

海辺は外部の人たちが一晩中騒ぐようになり、次からは河原でのキャンプになりました。100名以上のテントがはれる河原を探すのも一苦労でした。川は海に比べて自然は豊かでしたが、ひとたび雨が降ると大変です。大雨の中、やっと作ったトイレや食料が増水した川の水に流されていくような経験もしました。



3 食火起こしからの自炊という時もありました。

した。子どもたちを安全な場所に移動させるだけで精一杯の中、やはり屋根のある安全な建物の中で寝泊まりできるような合宿に変えようと今の形になったのです。子どもたちがおとなになってもいつまでも思い出に残る合宿を続けられるようにしたいと思います。

(事務長 尾道敦子)

夏休みの子どもたち

長い夏休みが終わり、学園の子どもたちもこの夏休みで色々な経験ができたと思います。楽しかった思い出や記憶に残ったことを子どもたちに書いてもらいました。

楽しかった

自然教室



私たち小学6年生は8月22日から24日までの2泊3日で和歌山県に大阪府の施設の子たちで過ごす目で見える自然教室に行ってきました。ハイキングをしたり、川遊びをしたり、地域学習をしたりとたくさんさんの経験ができました。初めて他の施設の子と過ごすことが、すごく緊張したり、仲良く



なれるか不安だったけど、いつの間にか同じ班の子たちがしゃべりかけてくれて、とっても仲良く楽しく過ごしました。この自然教室に関わってくれた皆さん、楽しい思い出をありがとうございます。(小学6年生 女子)

ひんやり冷たい

川遊び



7月29日から8月1日まで和歌山県の旧龍神中学校にキャンプに行ってきました。キャンプでは色々な事をしたけど、一番楽しかったことは、川遊びです。すごくきれいな水で、透明で少し緑っぽく見えました。流れも速くそこで浮き輪を使って流れながら泳ぎました。学校のプールとは違いすごく冷たくて他の子は、寒いから岸に上がってカニやオタマジャクシを捕まえたりしていたけど、私は楽しく泳いでいました。寝る場所は学校の教室で寝袋を使って寝ました。なんか変な感じがしたけど、楽しかったです。また教室の中にトンボとか色々な虫が入ってきたりして驚きました。その他にも運動会をしたり、自炊をしたりとても楽しいキャンプでした。(小学4年生 女子)

クラブで流した

3年間の汗



中学校に入ってから、ぼくは陸上部に入りました。長距離です。最初はしんどく、厳しいと思っていましたが、慣れてくると、色々な大会にも出るようになりました。でも、色々な事情があり中1の最後で辞めました。そして、中2からソフトテニス部に入りました。最初はなんでクラブ辞めたんとか聞かれて辛いこともあったけど、ソフトテニスに集中して、頑張って練習をしました。個人戦や団体戦に出場し一杯頑張りました。3年生になり練習はもっともつときつくなりました。中学最後、いつもよりもっと力強く、精一杯力を出し切って、最後の夏を終えました。ぼくはこの3年間、クラブでいろいろなことがあったけど、とても楽しかったです。(中学3年生 男子)

23年度 ソフトボール大会

8月27日に河内地区の児童福祉施設間で行われる、ソフトボール大会が開催されました。

高鷲学園からは小学4年生から高校3年生までの子どもたちでチームを作り、昨年度と同じく2チームが出場しました。毎年夏休みに入ると学園はソフトボール一色に染まります。昨年はAチームが優勝しており、連覇を目標に毎日のように練習をしました。

結果は、Bチームは残念ながら一回戦負け。Aチームは決勝戦まで勝ち進みましたが、惜しくも決勝戦で負け、準優勝となりました。来年度こそは優勝カップを学園に飾ることができるよう、子どもたちと一緒に頑張りたいと思います。

(ソフトボール監督 野本健太)

来年につなげたい

ソフトボール大会に向けて、夏休み中私たちは朝から夕方まで練習をしました。はじめて参加する子、毎年参加している子、それぞれが毎日毎日練習していく中で上達していききました。

本番では、初戦、みんな緊張して調子が出ず苦戦することもあったけど、準決勝、決勝と進むこと

ができました。決勝ではミスが多く相手のピッチャーがウインドミルで打つことが難しく、負けてしまいました。結果は準優勝でしたが、今回の大会ではみんな気持ちを一つにして楽しくソフトボールをすることができました。

来年は、私自身ソフトボールに参加するのが最後の年になります。精一杯練習をして優勝を目指したいと思えます。
(高校生女子)

惜しくも連覇ならず 準優勝

初めてキャプテン になって

7月に、ソフトボールをしたい子が集まり、AチームとBチームに別れた。Aチームは優勝を目指し、僕たちのBチームは楽しくソフトボールをするチームという別け方だ。僕はBチームのキャプテンになった。初めての経験で「ちゃんとチームを引っばっていけるのか」不安で頭が一杯だった。そんな不安もありながら大会に向けての練習がスタートした。

8月になり、今年初の練習試合では2試合し、どちらも惨敗。みんなもやる気を失くしていた。中には、「大会で1勝もできないかもな」と言う子もいた。
こんな時に、励まして、盛り上げるのがキャプテンなのに、僕は何もできず、このままキャプテンを続けていけるのか不安が募った。



大会に近づくにつれ、みんなも練習の時から盛り上がってきた。みんなが必死に頑張っている姿を見て、心の中の不安が少しずつ消えていった。

そして、とうとう大会当日、若江学園との試合となった。初回から大量失点。チームのやる気が徐々になくなってきた時、ベンチからAチームの応援が聞こえて来た。その応援を聞いた途端チームにやる気が出て、良いリズムが流れた。しかし、結果は大敗。悔しかったけど、この大会で色々なことができ、僕にとって良い経験ができた。
(高校生男子)

共同募金配分金による 事業完了のお知らせ

このたびは社会福祉法人大阪府共同募金会から、平成23年度配分金の交付を受け、左記の事業を完了致しました。
ここに事業完了のご報告を申し上げ、ご支援を賜りました関係者の皆さまに感謝の意を表します。

記

- 一、事業名 児童送迎車両整備事業
- 一、整備車両 トヨタ シエンタ1台
- 一、事業費総額 183万円
- 一、配分金額 90万円
- 一、施設名称 高鷲学園
- 一、施設所在地 羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号
- 一、完了年月日 平成23年8月25日

社会福祉法人大阪事業財団
理事長 細貝 大二郎



財団後援会 10周年記念事業 のお誘い からび座ミュージカル アトム

日時：2011年12月3日
PM3：30～

場所：クレオ大阪中央
チケット：大人4000円
小人3500円
(中学生以下、
席が必要な方は要チケット)
お問い合わせは
高鷲学園：
072-953-3881まで

会場で皆さんの

お越しを待っています。

寄付金・寄贈をいただいた方
(2011年7月1日～9月30日)
ありがとうございました。
(敬称略)

寄付金

Y・A(大阪市)
K・U(羽曳野市)

寄贈

浅田満(国産牛ロースライス)
今在家婦人会(お菓子)
西向野地蔵盆(お菓子)
株REVVE(玩具ブラレール)

招待

希望のひかり基金(目で見ると自然教室)
オリックス財団(野球観戦)
大阪新梅田シテイライオンズクラブ
(野球観戦)

ほっと ひとこと



昼食会メニューの手作りリクエストお弁当をもって近くの公園にお散歩に出かけました。お天気も良く、外で食べるごはんは一段とおいしく、みんな大喜びでした。またいこうね。

(3F学童ブロック 鈴木可奈)



調理解ブロック 選べる楽しさ リクエスト弁当

調理ブロック

当園では月に一度(第4日曜日)、イベントの一つとして昼食会を実施しています。

この昼食会はいつもよりごちそうメニューを取り入れたり、園庭へ移動式鉄板台を出し焼きそば・お好み焼きなどを作ったりと子どもたちに楽しんでもらえるようにと取り組んでいます。

秋の気配を感じるこの9月には事前に子どもたちへアンケートをとり、メインメニュー3種類から好きな物を選んでもらう弁当を作りました。幼児ブロックや児童ブロックもお弁当を持ってくる公園や広場へ出かけます。それぞれのほか違う弁当で賑やかなランチタイムになることでしょう。

(調理ブロック 伊與田 恵津子)